

ソリトン理論から可積分数理へ：“de nouvelles perspectives”

RIMS 研究集会

京都大学数理解析研究所の共同利用事業の一つとして、下記のように研究集会を開催致しますのでご案内申し上げます。

研究代表者 ウィロックス ラルフ
 (東大・数理)

記

日時： 2005年8月22日(月)10:30~
8月24日(水)12:30
場所： 京都大学数理解析研究所1階115号室
京都市左京区北白川追分町
市バス「農学部前」または「北白川」下車

プログラム

8月22日(月)

- | | |
|-------------|---|
| 10:30-11:20 | 津田 照久 (神戸大・自然)
Universal character and q-difference Painlevé equations with affine Weyl Groups |
| 11:30-12:20 | 田中 宏志 (島根大・物質科学)
セル・オートマトンの逆超離散化と BZ 反応への応用 |
| 14:10-15:00 | 由良 文孝 (はこだて未来大学・システム情報科学)
シーケンシャルセルオートマトンと可積分系 |
| 15:10-16:00 | 中村 佳正 (京大・情報学)
なぜ可積分な特異値分解アルゴリズムは高精度か |
| 16:10-17:00 | 小森 靖 (名古屋大・数理)
ルート系に付随する Calogero-Sutherland 模型と Ruijsenaars 模型 |

8月23日(火)

- 10:00–10:50 太田 泰広(神戸大・自然)
“くらしっく”なソリトン研究からの話題
- 11:00–11:50 佐々 成正(原研・計算科学技術推進センタ -)
シンプレクティック数値積分のBEC系への応用
- 13:30–14:20 広田 良吾(早大名誉教授)
離散2-D戸田方程式のLax-pair, 保存量、非自励系の条件
- 14:30–15:20 佐々木 隆(京大・基研)
Classical and quantum integrability in multi-particle dynamics
- 15:40–16:30 菊地 哲也(東北大・理)・笥 三郎(立教大・理学)
ソリトン系から見たパンルヴェ VI とその q 類似
- 16:40–17:30 丸野 健一(九大・数理)・児玉 裕治(Ohio State Univ.)
Classification of line-soliton solutions in 2+1 dimensional integrable equations

18:00 ~ 懇親会を予定しております。

8月24日(水)

- 10:20–11:10 笹野 祐輔(神戸大・理)
Higher order Painlevé equations of type $D_l^{(1)}$ ($l = 4, 5, 6, \dots$)
- 11:20–12:10 西成 活裕(東大・工)
自己駆動粒子系と可解確率モデル